

第51回

全日本実業団障害馬術大会

The 51st All Japan Business Group Equestrian Team Competition – Show Jumping

2014年1月25日～26日

JRA 馬事公苑



主催 日本社会人団体馬術連盟

文部科学省、東京都

後援 公益社団法人日本馬術連盟

日本中央競馬会 馬事公苑



日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

百貨店の乗馬ショップ

ピアツフェでもっと楽しく。



PIAFFER®

〈乗馬ファッション〉〈馬具〉〈アクセサリ〉



乗馬サロン **ピアツフェ** 日本橋三越本店 本館4階
TEL.03-3274-1638 (直通)



ピアツフェ・新宿 小田急百貨店ハルク地下1階
TEL.03-5325-2579 (直通)



〈オーダーブーツ〉
〈オーダージャケット〉
〈オーダーヘルメット〉
承ります。



〈日本橋 ピアツフェのご案内〉

広田龍馬氏
クリニック トークショー

(今回の全日本実業団障害馬術大会出場選手で
ご希望の方には広田龍馬氏がクリニックいたします。)

2月2日(日) 午後4時～

日本橋三越本店 本館7階 特別食堂日本橋「不二の間」
参加費1,000円(ワンドリンク付)

競技会のことや、技術のこと、もっと初歩的なことなど、何でも
気軽に質問なども大歓迎。ぜひご参加ください。

ごあいさつ



日本社会人団体馬術連盟
会長 菅原俊之

新春の候、日本社会人団体馬術連盟に加盟する団体による障害馬術競技のうち、団体戦の最高峰の大会である全日本実業団障害馬術大会を、本年度も馬術の殿堂たる馬事公苑で開催できることを大変嬉しく思います。

本大会は、日本社会人団体馬術連盟が設立された1968年に開催されて以来、51回を数えることとなりました。これも、各団体における日頃の練習やコミュニケーションなどで培われた初心者からベテランに至るまでのチームワークの賜物であり、日本社会人団体馬術連盟の活動にご賛同のうえ、競技馬を提供してくださる乗馬クラブの皆様のご協力のお蔭であると感謝している次第です。

この度、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。このことは、世界最高水準の馬術競技を日本で観ることのできる貴重な機会になるとともに、日本における馬術の普及の大きな転機となることと思います。

この全日本実業団障害馬術大会が、日本における馬術普及、馬事振興というスポーツを通じた社会貢献に繋がる活動となるよう、選手・役員一同、精一杯競技及び運営に努める所存ですので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、文部科学省、東京都、公益社団法人日本馬術連盟、日本中央競馬会馬事公苑をはじめ、多数の企業・団体・乗馬クラブから、ご協賛及びご支援を賜りましたことを、衷心より感謝いたします。

平成26年1月

大会役員

大会会長 菅原 俊之
大会副会長 今井 雄一
大会顧問 千 玄室 三笠 貞弘 斎藤 十朗 宮川 恭一
田所 忠夫 樋口 正明 駒井 雅夫 新垣 恒則 丹沢 太良
参 与 内田 忠 盛谷 通哉 平井 雅郎 袋 敏洋 合田 功
松元 庸子 小島 久昌

大会委員長 高橋 宗和
審判長 高桑 浩彰
審判員 鈴木 貴晴 丹沢 太良
救護医師 岩井 信市
救護獣医師 月川 大樹
コースデザイナー 村田 達哉
スチュワード 森下 力 高橋 真一郎 後藤 頼太 坂口 岳大
競技委員長 孕石 智司
競技委員 児玉 彰 山岸 広史 早田 恭彦 若松 麻里 金子 春起
小嶋 芳岳 松木 慶宜 山梨 拓磨 龍 家圭
碓井 滋敏 犬山 哲
橋本 伸 佐藤 毅彦 中田 潤也 奥山 雅樹 鴨田 幸紀
安居 淳一 金作 浩之 安部 純澄 周郷 裕子 平田 慎治
井上 加奈子 水野 史郎 小野寺 由紀子

総務委員長 中川 博健
総務 山口 理栄子 小川 加奈子 成田 菜穂子
記録 小林 達也 石津 智広 関 美雪 笠 七美花
放送 高桑 浩彰 宮田 佳代
賞典 山岸 広史 赤井 舞衣 須藤 奏美
会計 能勢 満司 山崎 幹子
広報 早田 恭彦

運営協力 日本社会人団体馬術連盟 加盟団体
関東学生馬術協会

馬匹提供団体 中島トニアシュタール 壬生乗馬クラブ 八王子乗馬倶楽部
ノースランドライディングクラブ

(順不同、敬称略)

大会スケジュール

◆ 第1日目 2014年1月25日(土)

8:30	選手 アリーナ下見	メインアリーナ	
	役員・馬取扱者集合	大会本部前	
9:00	開会式 (出場選手は正装にて集合)	ウィナーズサークル	
9:30	午前 前半 使用馬匹試走	メインアリーナ	
10:00	第1回戦 午前前半 第1~4 試合		
11:00	午前 後半 使用馬匹試走		
11:15	第1回戦 午前後半 第5~6 試合		
12:45	馬場整備		
13:15	午後 使用馬匹試走		
13:45	第1回戦 午後 第7~10 試合		
14:45	障害経路組換・馬場整備		
16:00	懇親会、決勝トーナメント抽選		講堂(本館2階)

◆ 第2日目-2014年1月26日(日)

8:00	選手 アリーナ下見	メインアリーナ
	役員・馬取扱者集合	大会本部前
8:30	選手集合	
9:00	準々決勝戦 使用馬匹試走	メインアリーナ
9:30	準々決勝戦 第11~14 試合	
10:50	障害経路組み換え、馬場整備	
11:30	下見	
11:45	準決勝戦 使用馬匹試走	
12:00	準決勝戦 第15~16 試合	
12:40	障害経路組み換え	
13:00	馬場整備	
13:15	下見	
13:30	決勝戦 使用馬匹試走	
13:45	決勝戦 第17 試合	
14:15	表彰式・閉会式	ウィナーズサークル
(14:50)	(日韓社会人親善馬術大会 強化練習)	(メインアリーナ)

※ 運営の都合でスケジュールを変更する場合があります。

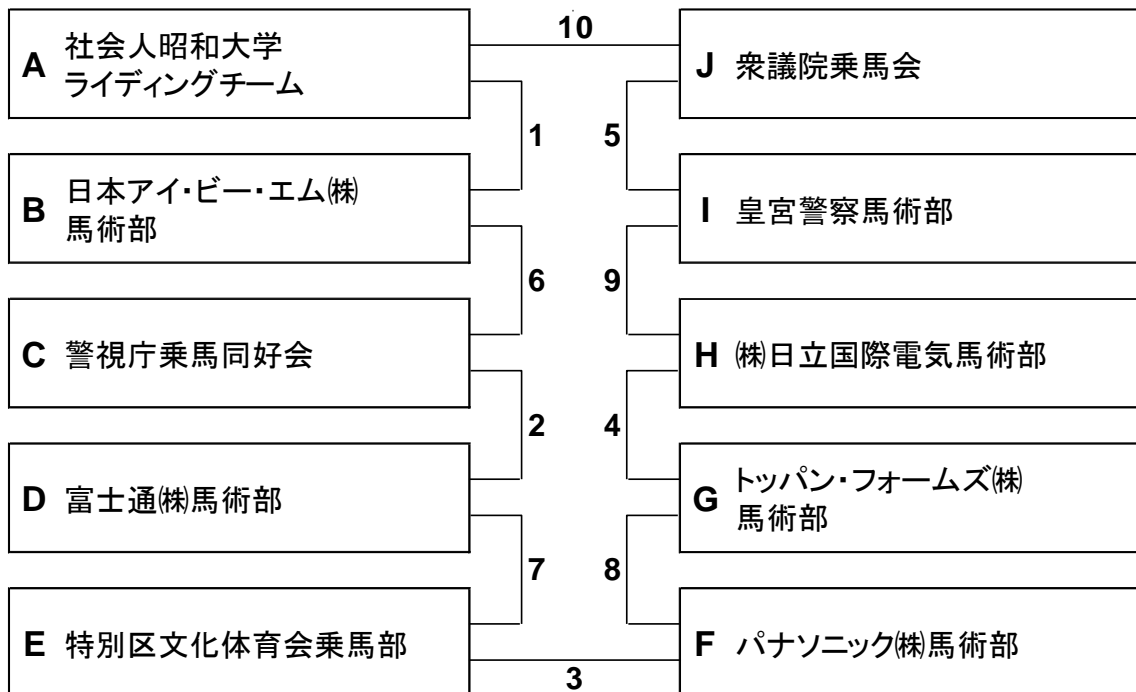
第 51 回 全日本実業団障害馬術大会 実施要綱

1. 主催： 日本社会人団体馬術連盟
2. 後援： 文部科学省 東京都 公益社団法人日本馬術連盟 日本中央競馬会馬事公苑
日本中央競馬会 助成事業
3. 開催日： 平成 26 年 1 月 25 日(土) ～ 26 日(日)
4. 開催地： JRA 馬事公苑 (東京都世田谷区上用賀 2-1-1)
5. 出場資格
 - 団体出場資格
 - － 日本社会人団体馬術連盟 正会員団体
 - － 同一団体内で出場資格を有する選手を 4 名以上揃えたチームを編成できる団体
 - － 大会役員、馬取扱者を各日 1 名ずつ以上派遣できる団体
 - 選手出場資格
日本社会人団体馬術連盟 馬術技能資格 A または B グレードに認定され、当年度に登録されている者
6. 競技形式
 - (1) 貸与馬による各団体チーム 3～4 名による対抗戦とする。
 - (2) 予戦は 2 試合の変形リーグ戦(3 名戦)とし、上位 8 チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - (3) 決勝トーナメントは 4 名戦とする。なお、決勝トーナメントでの 3 位決定戦は行わず、準決勝敗退チームを 3 位同位とする。
 - (4) 組み合わせは、抽選による。
 - (5) 競技規程は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 24 版(減点基準表については基準表 A)及び国民体育大会馬術競技規程(平成 25 年 4 月 1 日改定)の団体障害飛越競技(失権者の減点算出法等)を採用する。2 反抗失権とする。基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。第 1 回戦と決勝トーナメント準々決勝については、早着減点を採用する。
 - (6) 危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき参加団体責任者に改善を指導する場合がある。
 - (7) 使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行とする。
 - (8) その他、詳細については当日説明するので、注意すること。
7. 第 1 回戦勝敗決定方法
 - (1) 勝点の多い団体を勝者とする。
 - (2) 勝点と同じ場合は、次の順序で勝者を決める。
 - 減点合計の少ない団体
 - 各走行のタイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない団体
 - 減点 0 の選手の多い団体
 - 最少減点者の所属する団体
 - 失権者の少ない団体
 - (3) 以上をもって決定しない場合は、抽選により決定する。
8. 勝点決定法
 - (1) 相対する選手で、減点の少ない者に勝点を与える。
 - (2) 減点と同じ場合には、引き分けとする。
(準決勝、決勝については、タイムの速い方を上位とする。)

9. 第1回戦の結果による決勝トーナメント出場団体は、次の順序で決定する。
 - (1) 勝数の多い団体を上位とする。
 - (2) 勝数が同じ場合は勝数の多い団体を上位とする。
 - (3) 前項で2チームが同じ勝数の場合は、その2チームの対戦における勝利チームを上位とする。
なお、3チームが同じ勝数の場合は抽選とする。
 - (4) 以上をもって決定しない場合は抽選とする。
10. 決勝トーナメントにおける勝敗は、次の順序で決定する。
 - (1) 勝数の多い団体を上位とする。
 - (2) 勝数が同じ場合は、次の順序で勝者を定める。
 - 減点合計の少ない団体
 - 走行のタイムの合計の少ない団体 (ただし準々決勝は各走行のタイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない団体)
 - 減点0の選手の多い団体
 - 最少減点者の所属する団体
 - 失権者の少ない団体
 - (3) 以上をもって決定しない場合は別に協議する。
11. 決勝トーナメント組み合わせ
第1回戦競技終了後、決勝トーナメントの組み合わせ抽選会を行う。
12. 表彰
 - (1) 団体
 - 第3位までを入賞とし、表彰する。
 - (2) 個人
 - 最高殊勲選手賞 1名
 - 技能選手賞 2名
 - 敢闘選手賞 5名
 - (3) 馬匹
 - 最優秀馬匹賞 1頭
13. 注意事項
 - (1) 異議の申立ては、代表者を通じて書面により行うものとする。競技の成績が発表されてから30分を経過した場合、申立ては受理しない。
 - (2) 服装はFEI規定を適用し、出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は容易に脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に3点以上で固定されたものでなければならない。また、チャップス等での出場は認めない。
 - (3) 拍車は丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示により、着用を認めない場合がある。
 - (4) 審判長が認めた場合を除き、上記(2)(3)に違反した場合、失権とする。
 - (5) 準備運動場での逆標旗飛越は、その都度、罰金3万円を課す。飛越回数オーバーは失権とする。
 - (6) 馬匹、進行状況等により一部を変更して実施する場合がある。
 - (7) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。

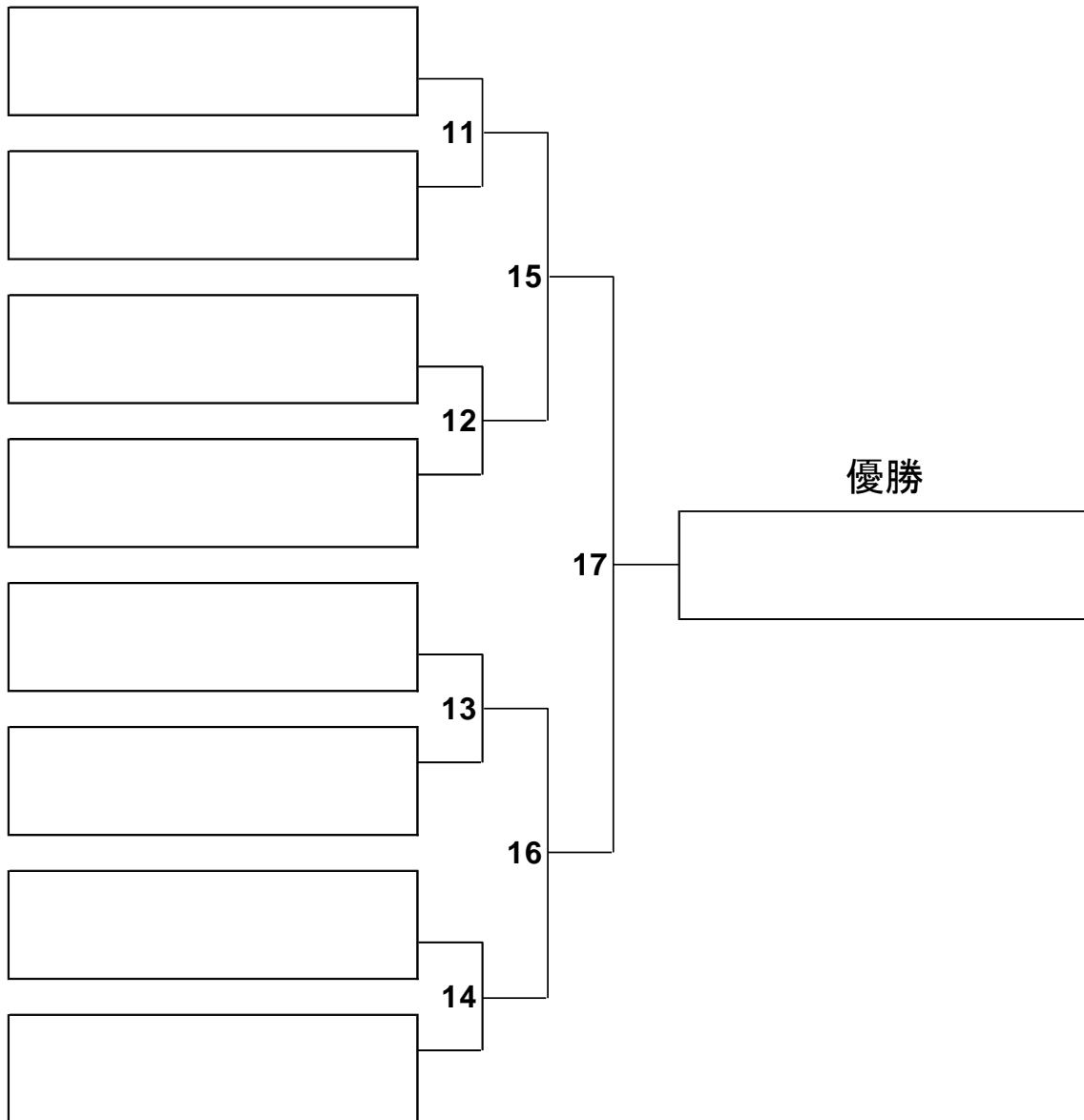
第 1 回 戦 組 み 合 わ せ

第 1 回戦において 2 勝したチームは決勝トーナメントに進出できる。ただし、2 勝したチームが 8 チームに満たない場合は勝ち点の多いチームをもって補充する。なお、勝ち点と同点の団体が複数ある場合は抽選とする。



※数字は試合番号です

決勝トーナメント



出 場 団 体

	団体名	登録区分	登録者氏名
1	警視庁乗馬同好会	出場選手	金作 浩之、田邊 肇、松木 慶宜、石原 亜由美、藤巻 優香、三田 恭平、小島 奈都美、田代 綾子
		馬取扱者	第1日目 小島 奈都美▽、第2日目 石原 亜由美▽
		派遣役員	第1日目 中田 潤也、第2日目 奥山 雅樹
2	皇宮警察馬術部	出場選手	佐藤 充、金子 春起、水田 貴、安部 純澄、棟掘 裕尚、森岡 裕子、高原 遼
		馬取扱者	第1日目 森岡 裕子▽、第2日目 森岡 裕子▽
		派遣役員	第1日目 安部 純澄、第2日目 安部 純澄
3	社会人昭和大学 ライディングチーム	出場選手	飯田 茂幸、芹澤 友里、坪井 麻与、龍 家圭、諸岡 真澄、出口 太一、斎藤 容子、筒江 麻亜耶
		馬取扱者	第1日目 龍 家圭▽、第2日目 龍 家圭▽
		派遣役員	第1日目 岩井 信市、第2日目 岩井 信市
4	衆議院乗馬会	出場選手	加来 賢一、山岸 広史、柴崎 敦史、佐藤 圭、工藤 豊
		馬取扱者	第1日目 加来 賢一▽、第2日目 佐藤 圭▽
		派遣役員	第1日目 佐藤 毅彦、第2日目 小川 加奈子
5	特別区文化体育会乗馬部	出場選手	鳥塚 修、菊谷 雅仁、渡邊 光子、坂本 太郎、孕石 智司
		馬取扱者	第1日目 坂本 太郎、第2日目 鳥塚 修
		派遣役員	第1日目 水野 史郎、第2日目 成田 菜穂子
6	トッパン・フォームズ(株) 馬術部	出場選手	細川 浩志、早川 太郎、大鳥井 浩一、須永 浩介、仙名 翼、小幡 圭一
		馬取扱者	第1日目 仙名 翼▽、第2日目 小幡 圭一▽
		派遣役員	第1日目 山口 理栄子、第2日目 須藤 奏美
7	日本アイ・ビー・エム(株) 馬術部	出場選手	紫関 昭光、光成 晋哉、久保 知之、津田 嘉孝、中島 章博、早田 恭彦、加納 麻優子
		馬取扱者	第1日目 池田 桃子、第2日目 堀田 順子
		派遣役員	第1日目 鴨田 幸紀、第2日目 安居 淳一
8	パナソニック(株)馬術部	出場選手	山田 至誠、鶴見 直大、堀 豊、竹村 博行、塚田 隆彦、田中 美保、田中 寛子、角田 真紀
		馬取扱者	第1日目 大島 由美子、第2日目 大島 由美子
		派遣役員	第1日目 宮田 佳代、第2日目 宮田 佳代
9	(株)日立国際電気馬術部	出場選手	児玉 彰、佐伯 圭一、若松 麻里、竹本 有希、檜木 英恵
		馬取扱者	第1日目 山田 武寛、第2日目 山田 武寛
		派遣役員	第1日目 小林 達也、第2日目 小林 達也
10	富士通(株)馬術部	出場選手	星野 正雄、山梨 拓磨、碓井 滋敏、田原 孝幸、山川 善久、安藤 洵、新庄 麻子
		馬取扱者	第1日目 脇田 芳二、第2日目 山川 善久▽
		派遣役員	第1日目 後藤 頼太、第2日目 坂口 岳大

▽は選手兼任



警視庁乗馬同好会

- 設立：1988年
- 会社名：警視庁
 - 業種：地方公務員
- ホームページ
 - <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>
- 部員数：47名
- ホームグラウンド：
 - 馬事公苑
- 活動内容：
 - 日本社会人団体馬術連盟が開催する大会等に参加
- アピールなど
 - 安全運転、事故防止の安定した馬術を目指して取り組んでいます。



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第35回 優勝
 - 第41回 準優勝
 - 第50回 準優勝
- 今大会への意気込み・目標
 - チーム一丸となり、表彰台のてっぺんを目指す。
 - 勉強になる大会なので、より多くのものを学び吸収する。

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



皇宮警察馬術部

- 設立：1983年
- 会社名：皇宮警察本部
- ホームページ
 - <http://www.npa.go.jp/kougu/>
- 部員数：15名
- ホームグラウンド：
 - 特になし
- 活動内容：
 - 社会人団体馬術連盟主催大会への参加等
- アピールなど
 - 皇宮護衛官採用試験受験者募集中！



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第47回 準優勝
 - 第48回 準優
 - 第49回 準優勝
- 今大会への意気込み・目標
 - 期待の新人が入部しました！
 - 減点0目指して頑張ります。

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



社会人 昭和大学ライディングチーム

- 設立: 2008年
- 会社名: 学校法人 昭和大学
 - 業種: 教育機関、
- ホームページ
 - <http://www.showa-u.ac.jp>
- 部員数: 15名
- ホームグラウンド:
 - 昭和大学富士吉田校舎 馬場
- 活動内容:
 - 年1~2回程度の合同練習会
 - 活動を通しての学生教育
- アピールなど
 - 大学生との交流も大事にしています。
 - 医療機関、教育機関としてはなかなかできない馬術を始めるチャンスですよ！



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第46回 優勝
- 今大会への意気込み・目標
 - 主力選手が抜けて、新体制となりますが昭和大学はいつだって優勝を目指します！

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



衆議院乗馬会

- 設立: 昭和30年11月
- 部員: 国会職員
(衆議院、参議院、国立国会図書館の職員)
- 部員数: 33名
- ホームグラウンド:
 - ハケ岳乗馬会 ララミー牧場(団体会員)
 そのほか、馬術苑 中島トニアシュタール、ドレッサージュステープル テルイ、八王子乗馬倶楽部、乗馬クラブ アリサで、個々の会員が活動
- 活動内容:
 - 社会人騎道普及愛馬会への参画
 - 不定期の合宿
 - 競技出場



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第45回実業団障害馬術大会 第3位
 - 第49回実業団障害馬術大会 第3位
 - 第50回全日本実業団障害馬術大会 第3位
- 今大会への意気込み・目標
 - 新戦力とともに楽しむ
 - 過去2大会は3位に甘んじていますが、今回はより上位へ

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



特別区文化体育会乗馬部

- 設立: 昭和50年4月1日
- 会社名: 特別区
(東京23区各区役所および東京二十三区清掃一部事務組合や特別区競馬組合など)
 - 業種: 公務、サービス業
- 部員数: 35名
- ホームグラウンド:
 - 一宮乗馬センター
- 活動内容:
 - 定期練習月2回、合宿年数回(一宮や北海道など)
 - 職員初心者乗馬講習会年2回
 - 職員乗馬大会年1回など
- アピールなど
 - 男女差なく、また、生涯スポーツならではの選手起用
- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第30回 I 部リーグ戦第2位
 - 第29回、第36回 II 部リーグ戦第3位
 - 最近は、第48回と第49回ベスト8
- 今大会への意気込み・目標
 - 決勝リーグ進出
 - 新たな戦力の発掘

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



トッパン・フォームズ(株)馬術部

- 設立: 昭和43年(1968年)9月
- 会社名: トッパン・フォームズ(株)
 - 業種: その他製造業(印刷など)
- ホームページ
 - 無
- 部員数: 26名
- ホームグラウンド:
 - 秦野国際乗馬クラブ
 - 中島トニアシュタール
- 活動内容:
 - 週1回の練習会
 - 社馬連主催の試合への参加
- アピールなど
 - 入社してから乗り始めた部員が多い部ですが、連盟主催競技会での入賞も多く、活気のある部です
- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 平成19年 第44回大会 優勝
 - 平成25年 第50回大会 優勝
 - その他 準優勝4回、3位1回
- 今大会への意気込み・目標
 - 今年、優勝し創部以来成し遂げたことが無い連覇が目標!
 - まずは、安心しての決勝トーナメントへの進出



撮影者: 池田理

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



日本アイ・ビー・エム(株)馬術部

- 設立: 1973年
- 会社名: 日本アイ・ビー・エム(株)
 - 業種: コンピューター全般
- ホームページ
 - <http://www.ibm.com/jp/ja/>
- 部員数: 30名
- ホームグラウンド:
 - 座間近代乗馬クラブ
- 活動内容:
 - 合宿、外乗会なども定期的に行う。
 - 初心者の育成も部内で指導しています。
 - 普段の練習は、月2回行っています。
- アピールなど
 - 昨年40周年を迎えました。
 - 社員向けの乗馬教室では毎年多くの募集があり、この教室を機に部員となる者も多く、継続して練習を続けています。



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 1983年1月 第21回 2位
 - 1986年12月 第24回 2位
 - 2000年1月 第37回 優勝
 - 2005年1月 第42回 2位
- 今大会への意気込み・目標
 - ここ数年は成績がよろしくないのですが、今度こそはがんばります。

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



パナソニック(株)馬術部

- 設立: 1972年
- 会社名: パナソニック株式会社
 - 業種: 総合エレクトロニクスメーカー
- ホームページ
 - 部としてのHPはありません。
- 部員数: 約100名
- ホームグラウンド:
 - 杉谷乗馬クラブ(大阪)
 - 中島トニアシュタール(茨城)
- 活動内容:
 - 毎週土曜日にクラス別、種目別にて練習を実施(大阪)
 - 夏、秋の合宿の実施
- アピールなど
 - 馬好きの仲間が集まった老若男女の集まりです。外国の方も部員です。馬に携わる時は会社の枠を超えて和気藹々としています。経験者も初めてのの方も楽しい乗馬ライフを楽しんでいます。



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 実業団中障害優勝4回
 - 入賞多数
 - 個人戦障害、馬場優勝、入賞多数
- 今大会への意気込み・目標
 - 勝ちます!

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



(株)日立国際電気馬術部

- 設立: 1970年
- 会社名: 株式会社日立国際電気
 - 業種: 電気機器製造
- ホームページ
 - <http://www.hitachi-kokusai.co.jp/>
- 部員数: 24名
- ホームグラウンド:
 - 特になし
- 活動内容:
 - 合宿(長野、山梨)
 - 練習会
- アピールなど
 - 戦績が示す通り勝負師が揃っています。
 - 日立グループの方、入部お待ちしております。



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第49回 団体優勝
 - 第50回 ベスト8
- 今大会への意気込み・目標
 - 昨年は準々決勝で敗れてしまいましたが、2年振りの優勝を目指します。
 - 予選リーグの相手は強いですが、頑張ります。

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体



富士通(株)馬術部

- 設立: 1956年
- 会社名: 富士通(株)
 - 業種: 電気機器
- ホームページ
 - <https://www.facebook.com/FJR.Horse>
- 部員数: 約40名
- ホームグラウンド:
 - 明松寺馬事公苑(長野県)
- 活動内容:
 - 月2回程度の長野での合同練習
 - 年1回程度の合宿 (2013年韓国济州島)
 - 関東近辺での合同練習 (非定期)
- アピールなど
 - 仕事をしながら生涯スポーツとして馬術を続けられる部活動を目指しています！



- 主な過去の戦歴成績(実業団戦)
 - 第46回 準優勝
- 今大会への意気込み・目標
 - 今年こそ！優勝！
 - 馬の能力を活かす騎乗に努めます。

第51回 全日本実業団障害馬術大会 出場団体

過 去 の 成 績

		優勝	準優勝	第3位
第1回 (1968年)		日本中央競馬会	駿蹄会	郵政省、三越
第2回 (1968年)		地方競馬全国協会	埼玉銀行	東京都庁
第3回 (1969年)		防衛庁	東京都庁	日本中央競馬会
第4回 (1969年)		日本中央競馬会	石川島播磨重工	富士通
第5回 (1970年)		地方競馬全国協会	駿蹄会	日本航空
第6回 (1970年)		東京都庁	防衛庁	三井物産
第7回 (1971年)		日本航空	富士通	駿蹄会
第8回 (1971年)		特別区競馬組合	農林水産省	日本航空
第9回 (1972年)		松下電器産業	防衛庁	埼玉県庁
第10回 (1972年)		ナショナル証券	松下電器産業	野村証券 日本航空
第11回 (1973年)		日本中央競馬会	特別区競馬組合	日本航空、 自衛隊体育学校
第12回 (1974年)		茨城県庁	自衛隊体育学校	日本航空 ナショナル証券
第13回 (1975年)		日本中央競馬会	日本航空	トッパン・ムーア 自衛隊体育学校
第14回 (1976年)		駿蹄会	三菱油化四日市	富士通 茨城県庁
第15回 (1977年)		埼玉県庁	大蔵省	三菱油化四日市 東京都庁
第16回 (1978年)		日産火災海上	三菱油化四日市	ナショナル証券 電電公社名古屋
第17回 (1979年)		警視庁	東京都庁	自衛隊体育学校 富士通
第18回 (1980年)		駿蹄会	東京都庁	三菱油化四日市 大蔵省
第19回 (1981年)		日本航空	埼玉県庁	富士通 自衛隊体育学校
第20回 (1982年)		日本中央競馬会	カバロ	茨城県庁 日産火災海上
第21回 (1983年)		埼玉県庁	大蔵省	日本アイ・ビー・エム 皇宮警察
第22回 (1984年)		日産火災海上	防衛庁	東京証券協和会 松下電器産業
第23回 (1985年)		農林水産省	地方競馬全国協会	松下電工
第24回 (1986年)	I部	ナショナル証券	日本アイ・ビー・エム	地方競馬全国協会
	II部	日本中央競馬会	ナショナル証券	カバロ
第25回 (1987年)	I部	日本中央競馬会	東京都庁	埼玉県庁
	II部	皇宮警察	埼玉県庁	西武セゾン
第26回 (1988年)	I部	茨城県庁	三菱商事	富士通
	II部	富士通	東京証券協和会	レッキス
第27回 (1989年)	I部	警視庁第二交通機動隊	富士通	松下電工
	II部	警視庁第二交通機動隊	農林水産省	皇宮警察

		優勝	準優勝	第3位
第28回 (1990年)	I部	茨城県庁	松下電器	NTT
	II部	トッパン・ムーア	レッキス	松下電器
第29回 (1991年)	I部	ナショナル証券	茨城県庁	松下電器、埼玉県庁
	II部	レッキス	富士通	特別区文化体育会
第30回 (1992年)	I部	茨城県庁	特別区文化体育会	日本中央競馬会
	II部	野村証券	勝宮社	農林水産省
第31回 (1993年)	I部	松下電器産業	松下電工	日本中央競馬会、富士通
	II部	トッパン・ムーア	東京都庁	ナショナル証券
第32回 (1994年)	I部	東京都庁	NTT	松下電器
	II部	野村証券	ナショナル証券	警視庁、佐川急便
第33回 (1995年)	I部	ナショナル証券	地方競馬全国協会	東京都庁
	II部	野村証券	ナショナル証券	警視庁
第34回 (1996年)	I部	松下電工	野村証券	日本アイ・ビー・エム
	II部	松下電器	NTT	日本アイ・ビー・エム
第35回 (1997年)	I部	警視庁	野村証券	皇宮警察
	II部	佐川急便	日産火災海上	NTT
第36回 (1998年)	I部	佐川急便	皇宮警察	松下電器
	II部	佐川急便	松下電器	特別区文化体育会
第37回 (1999年)	I部	日本アイ・ビー・エム	松下電器	東京都庁
	II部	地方競馬全国協会	トッパン・フォームズ	日本航空
第38回 (2000年)	I部	松下電器	佐川急便	東京都庁
	II部	富士通	野村証券	防衛庁
第39回 (2002年)		佐川急便	東京都庁	松下電器
第40回 (2003年)		佐川急便	トッパン・フォームズ	東京都庁
第41回 (2004年)		地方競馬全国協会	警視庁	トッパン・フォームズ
第42回 (2005年)		松下電器	日本アイ・ビー・エム	富士通 地方競馬全国協会
第43回 (2006年)		佐川急便	トッパン・フォームズ	日本航空
第44回 (2007年)		トッパン・フォームズ	佐川急便	防衛省
第45回 (2008年)		佐川急便	トッパン・フォームズ	衆議院
第46回 (2009年)		社会人昭和大学	富士通	パナソニック
第47回 (2010年)		パナソニック電工	皇宮警察	パナソニック
第48回 (2011年)		皇宮警察	トッパン・フォームズ	損害保険ジャパン
第49回 (2012年)		日立国際電気	皇宮警察	衆議院
第50回 (2013年)		トッパン・フォームズ	警視庁	衆議院
第51回 (2014年)				

- ・ 1968年 社会人馬術競技会として、第8回より社会人団体馬術大会として開催。
- ・ 第39回より実業団障害馬術大会として、第50回より全日本実業団障害馬術大会として実施。
- ・ 第24回より第38回までは2部リーグ制で開催。
- ・ 団体名・会社名等は開催当時のものです。

馬術競技について

馬術競技は、人と生き物である馬とが一体となって競技を行うスポーツで、男性と女性が同じステージで競う種目です。また、幅広い年齢層の選手が活躍している種目でもあります。

馬は、人と同じように自分の意思を持っており、騎手が障害を飛越しようと思っても、馬に飛越する意思がなければ、決して飛びません。馬術競技においては、馬が運動するエネルギーを、選手がそのためのリズムとバランスを演出し、お互いに信頼感で結ばれたときに素晴らしい演技が生まれます。これが「馬術は馬人馬一体の競技である」といわれるゆえんです。

人間の数倍もある馬を、自分の意のままに動かすことは馬術の最大の難しさでもあり、他のスポーツでは味わえない奥深い魅力でもあります。騎乗技術が進むほど、馬は複雑な動きをするようになります。人とパートナーである馬との信頼関係が深まっていく喜びは、馬術ならではの醍醐味であり、さらにそれが上達への原動力にもなります。

オリンピックでは、演技の正確さや美しさを競う馬場馬術、コース上に設置された障害物を飛越しながらミスなく早く走行する障害馬術、馬場と障害の2種目にダイナミックなクロスカントリー走行を加えた3種目を同じ人馬で戦い抜く総合馬術競技の3種目が行われています。その他にも国際馬術連盟が認定している種目としては、エンデュランス、レイニング、馬車競技、軽乗、パラ馬場馬術があります。

長い歴史と伝統があり、優雅で気高いスポーツの象徴とされることが多い馬術ですが、意外と身近に楽しむことができます。少しでも馬に乗った経験があると、馬術をより深く楽しく観戦することができるでしょう。もしかしたら、あなたが馬に乗って演技する立場になっているかもしれませんね。

障害馬術競技とは

障害馬術競技は、競技アリーナに設置された様々な色や形の障害物を、決められた順番通りに飛越、走行するもので、障害物の落下や不従順などのミスなく、早くゴールすることが求められます。障害物の大きさは、オリンピックなどのトップレベルの大会では高さは160cm、幅(奥行き)は200cmを超えるものもあり、選手の技術と馬の能力、さらにそのコンビネーションが揃ってこそ、迫力と華麗さを兼ね備えた走行や飛越をみせることができます。



馬場馬術競技とは

フィギュアスケートのように、馬の演技の正確さや美しさを競う競技で、常歩(なみあし)、速歩(はやあし)、駢歩(かけあし)という3種類の歩き方を基本に、様々なステップを踏んだり、図形を描いたりするものです。演技内容を決められた規定演技と、選手が演技を構成して音楽をつけて行う自由演技があります。複数の審判員が演技毎につける0~10点の点数と、演技全体の印象について採点した点数を合計します。自由演技においては、芸術的評価が加わります。それぞれの得点を満点で割ってパーセンテージで表します。もちろん、その数字が大きい人馬が上位となります。



総合馬術競技とは

総合馬術競技は、馬場馬術競技・クロスカントリー競技・障害馬術競技の3種目を同一人馬のコンビネーションで3日間をかけて行う競技で、各種目の合計減点の少ない人馬が上位となります。クロスカントリー競技では、自然に近い状態の地形に竹柵、生垣、池、水濠、乾壕などのボリュームのある障害物が設置されます。トップレベルの大会では、コースの長さは6km以上にもなり、飛越する障害物は40を超えます。そのハードなコースを分速570m(時速34.2km)のスピードで駆け抜ける様子は迫力満点です。

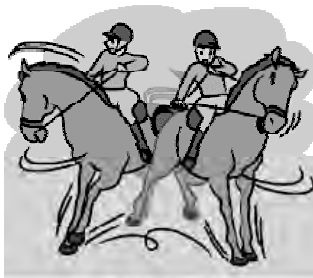


障害馬術競技の基本的なルール

競技アリーナに設置された様々な色や形の障害物を、スタートからフィニッシュまで決められたコースを走行し、順番通りに障害を飛越していきます。走行中、障害物の落下や障害前での反抗など不従順があると、その都度 4 点減点になります。コースには規定タイム・制限タイムなどが設定されており、そのうち規定タイムを超えると 4 秒毎に 1 点の減点となります。2 回の不従順、制限タイム超過、経路違反、選手の落馬、人馬の転倒などの場合は失権となり、それ以上、走行を続けることはできません。審判がベルを鳴らして知らせます。

規定タイム内にすべての障害を無過失でゴールすると減点 0 の満点走行となります。

※ 大会によって競技形式や詳細なルールが異なります。大会の実施要綱も併せてご覧ください。

 <p>障害物の落下</p>	<p>・障害物を落とした・壊した場合： ◆減点 4 点 (壊した場合は走行タイムに 6 秒加算)</p>	 <p>不従順 (反抗)</p>	<p>・馬が障害物の前で止まってしまった場合： ◆1 回目 減点 4 点 2 回目 失権</p>
 <p>＝ 反逆 (とうひ) ＝</p>	<p>・馬が障害物を飛ぶことを嫌って左右どちらかに逃げた場合： ◆1 回目減点 4 点 2 回目 失権</p>	 <p>反抗の継続</p>	<p>・走行中 45 秒間継続して反抗： ◆失権</p>
 <p>規定タイム・制限タイムの超過</p>	<p>・規定タイムを超えた場合や基準タイムから 5 秒以上離れた場合： ◆4 秒毎に減点 1 ・制限タイムを超えた場合： ◆失権</p>	 <p>落馬・人馬転倒・経路違反</p>	<p>・落馬、馬の転倒、経路違反、審判が危険と判断した場合、敬礼を行わなかった場合など： ◆失権</p>

馬術競技観戦にあたっての注意とお願い

- ・ 馬を驚かしたり、びっくりさせるようなことはしないでください(急な動きが視野に入ったり、新聞やビニール袋のガサガサという音が聞こえると驚くことがあります)。
- ・ 競技中は、競技場の柵に手をかけたり、柵から体を乗り出したりしないでください。観客にとっても、競技をしている人馬にとっても危険です。
- ・ 競技中の人馬の写真の撮るときには、馬が驚くことがあるのでフラッシュを使用しないでください(オートでは逆光などで自動的にフラッシュが発光する場合がありますので、オフにしてください)。

・ (※ 日本馬術連盟ホームページより引用)

馬事公苑 案内図

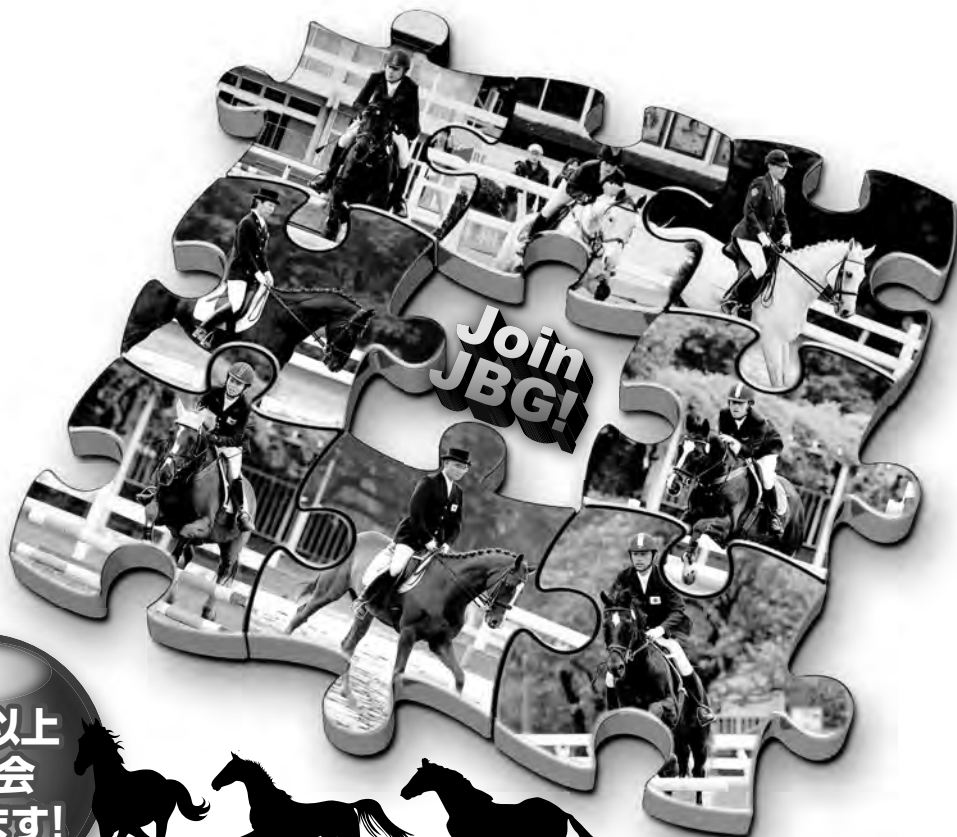
※ 本大会ではメインアリーナエリアのみ使用します



- | | | | |
|----------------------|--------------------------|-------------------|-------------------------------|
| ① 大会本部(1階)
講堂(2階) | ⑧ メインスクエア
障害馬術競技 待機馬場 | ⑭ 地下道出入口 | ⑳ 診療所
(入厩審査) |
| ② ウィナーズサークル
表彰式 | ⑨ 障害馬術競技 準備馬場 | ⑮ サウススクエア
準備馬場 | ㉑ 蹄洗場 |
| ③ 救護室 | ⑩ オープンスクエア
部班競技場 | ⑯ E棟既舎 | ㉒ ポロ・寝糞集積場
(ゴミ等は捨てないでください) |
| ④ 障害馬術競技審判棟 | ⑪ ポケット
馬場馬術競技場 | ⑰ A棟既舎 | ㉓ お手洗い |
| ⑤ メインアリーナ
障害馬術競技場 | ⑫ ドレッシングアリーナ
馬場馬術競技場 | ⑱ B棟既舎 | ㉔ 乗用車駐車場 |
| ⑥ 観覧席 | ⑬ 馬場馬術競技 準備馬場 | ㉒ C棟既舎 | ㉕ 馬運車駐車場 |
| ⑦ 障害馬術競技 準備馬場 | | ㉓ D棟既舎 | |

- ・ 立入・通行禁止エリアには入らないでください。
- ・ グラスアリーナ、インドアアリーナへの馬の立入は禁止です。
- ・ 移動中および待機馬場は常歩のみです。一般の来苑者もいらっしゃいますので、通行には十分ご注意ください。
- ・ 車両は決められた駐車場に駐車してください。サウスエリアでは乗用車の駐車は禁止です。
- ・ 駐車券のない車両は駐車できません。駐車券は最終日正午までに大会本部へ返却してください。
- ・ 苑内での車両の通行は、ハザードを点灯し、徐行運転(10km/時以下)して下さい。
- ・ 苑内の自転車・バイクの通行はできません。正門守衛所横の駐輪場に止めてください。
- ・ ゴミなどは必ずお持ち帰りください。
- ・ ペット等の入苑はできません。

会員団体募集中!



3人以上
で入会
できます!



当連盟では〈会員団体〉を募集しています。

こんなにある!
入会のメリット

- 当連盟主催の競技会や講習会、騎乗者資格審査会などに参加できます。
- 貸与馬にてリーズナブルに競技会に出場できます。
- 他社の会員の方々と交流できます。
- 国際競技会に参加できます。
- 提携乗馬クラブ及び乗馬用品ショップでの割引などの特典が利用できます。

CHECK! 加入条件などの詳細は【社馬連Webサイト】<http://www.jbg.jp> をご覧ください。



日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

お問い合わせ・
お申し込み

E-mail : shabaren@jbg.jp

TEL : 03-3297-5630 (月・水・金曜 10時~16時)

【正会員団体】(21団体)

伊藤忠商事相互会乗馬部 / (株)魚国総本社馬術部 / NTT馬術部 / 警視庁乗馬同好会 / 皇宮警察馬術部 / 財務省乗馬会 / 社会人昭和大学ライディングチーム / 衆議院乗馬会 / 東京都庁体育会乗馬部 / 特別区文化体育会乗馬部 / トップ・フォームズ(株)馬術部 / 日本アイ・ピー・エム(株)馬術部 / 日本中央競馬会乗馬部 / (株)日本馬事普及馬事研究部 / (株)日立国際電気馬術部 / 富士通(株)馬術部 / 防衛省乗馬同好会 / パナソニック(株)乗馬部 / パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部 / 三井物産(株)乗馬部 / レッキス工業(株)馬術部

【準会員団体】(9団体)

茨城県庁乗馬部 / SET(ソニー馬術同好会) / 住友スリーエム馬術愛好会 / セゾングループ乗馬部 / (株)損害保険ジャパン馬術部 / 日本農産工業(株)乗馬部 / 農林水産省乗馬会 / ヤナギスポーツ乗馬部 / 山田&パートナーズ乗馬同好会
(50音順 2013.7.1現在)

日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

本大会「全日本実業団障害馬術大会」を主催いたします「日本社会人団体馬術連盟」は、1968年に「社会人団体馬術同好会」として結成され、1976年に「社会人団体馬術連盟」、1979年に「日本社会人団体馬術連盟」と改称し、現在に至っております。当連盟は、各都道府県馬術連盟、全日本学生馬術連盟等その他の組成団体とともに、公益社団法人 日本馬術連盟の正会員として位置づけられ、日本馬術連盟に理事を派遣しています。

当連盟の会員は、官公庁や企業の職域をベースとする乗馬団体であり、現在30団体が加盟しており、その所属部員数の合計は約2,500名となっています。部員は、学生馬術界の出身者のほか、社会人になってから乗馬を始めた者も多く、平日は仕事に従事し、週末の余暇を乗馬に当てて楽しんでおり、「生涯馬術」を標榜し、日本における乗馬層の底辺拡大と健康的な社会づくりに貢献しております。当連盟および会員団体においては、自身が乗馬を楽しむだけでなく、一企業市民として、馬事の振興やスポーツ馬術の普及を通じ、持続可能な社会の実現に向けた社会的責任を果たしています。

主な事業としては、会員団体及びその部員に向けた「全日本社会人馬術選手権大会」「全日本実業団障害馬術大会」、「JBG ホースフェスティバル」をはじめとする競技会の開催のほか、一般競技者向けに「キャロットステークス」を主催しており、国際大会としては日本と韓国で交互に開催される「日韓社会人親善馬術大会」を開催しています。このほか、馬術講習会や技能認定審査会、当連盟主催以外の馬事の振興と普及に関する行事への参加・応援等を実施しております。これらの事業の企画立案、運営には、各会員団体の中から選出された理事および委員が中心となってあたっています。

所在地

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-4 新川エフ2ビルディング 6階

TEL 03-3297-5630 FAX 03-3297-5636

ホームページ: <http://www.jbg.jp/>

設立と沿革

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1968年(昭和43年)6月 | 「社会人団体馬術同好会」結成。 |
| 1976年(昭和51年)5月 | 「社会人団体馬術連盟」と改称。 |
| 1978年(昭和53年)4月 | 日本馬術連盟の団体会員となる。 |
| 1979年(昭和54年)5月 | 「日本社会人団体馬術連盟」と改称。
組織変更により理事制を採用。 |
| 1979年(昭和54年)10月 | 日本馬術連盟の基盤団体として認定。 |
| 1982年(昭和57年)3月 | 当連盟より日本馬術連盟に理事を派遣。 |
| 1985年(昭和60年)4月 | 日本馬術連盟の組成団体となる。 |
| 2001年(平成13年)4月 | 日本馬術連盟の正会員となる。 |

日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

《正会員団体》

伊藤忠商事相互会乗馬部	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
(株)魚国総本社馬術部	日本中央競馬会乗馬部
NTT 馬術部	(株)日本馬事普及馬事研究部
警視庁乗馬同好会	(株)日立国際電気馬術部
皇宮警察馬術部	富士通(株)馬術部
財務省乗馬会	防衛省乗馬同好会
社会人昭和大学ライディングチーム	パナソニック(株)馬術部
衆議院乗馬会	パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部
東京都庁体育会乗馬部	三井物産(株)乗馬部
特別区文化体育会乗馬部	レッキス工業(株)馬術部
トッパン・フォームズ(株)馬術部	

《準会員団体》

茨城県庁乗馬部	日本農産工業(株)乗馬部
SET (ソニー馬術同好会)	農林水産省乗馬会
住友スリーエム馬術愛好会	ヤナギスポーツ乗馬部
セゾングループ乗馬部	山田&パートナーズ乗馬同好会
(株)損害保険ジャパン馬術部	

(平成 25 年 7 月 1 日現在)

日本社会人団体馬術連盟 (社馬連/JBG)

- Japan Business Group Equestrian Federation

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-4 新川エフ 2 ビル 6F

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636 Email: shabaren@jbg.jp

Homepage: <http://www.jbg.jp/> - 加盟団体募集中です

Twitter: http://twitter.com/JBG_Shabaren - 最新情報や馬に関するつぶやき

Facebook: <http://www.facebook.com/JBG.Shabaren> - 最新情報はこちらからも

Ustream: <http://www.ustream.tv/channel/shabaren> - 過去の大会中継ビデオなど

馬のウェルフェアのための馬スポーツ憲章



国際馬術連盟(FEI)は、国際的な馬スポーツに係わるすべての者が、FEI馬スポーツ憲章を遵守し、いかなる場合にも馬のウェルフェアが最優先され、決して競技の勝敗または商業的な影響を受けてはならないことに同意し、これを受け入れることを求めるものである。

1. 競技出場への準備段階や競技馬の調教段階のいずれの時点においても、馬のウェルフェアが他のどのような要求よりも優先されなければならない。
2. 競技馬と選手は競技出場の許可を得る前に、コンディションが良好で競技参加にふさわしい状態にあり、健康状態も良好でなければならない。
3. 競技会が馬のウェルフェアを損なってはならない。
4. 競技参加後の馬が十分な手入れをされること、また現役を退いた馬が人道的な扱いを受けるための最大限の努力をしなければならない。
5. FEIは馬術スポーツに係わるすべての者が、競技馬のケアおよび管理に関連する各々の専門分野において、可能な限り高いレベルに到達するよう推進する。

FEI CODE OF CONDUCT FOR THE WELFARE OF THE HORSE - FEI

http://www.fei.org/system/files/Code_Conduct_Environment_English.pdf

FEI馬スポーツ憲章 - 日本馬術連盟

http://www.equitation-japan.com/about_02.html

基本原則と理念 - 日本社会人団体馬術連盟

<http://www.jbg.jp/about/principle>

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸してくださる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思っております。

1. 馬を大切にしてください。

馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。

2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。

参加費を払っていても、馬を借りることに変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願いします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。

3. 馬の悪口を言わない。

競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。

4. 最後まで面倒を見ましょう。

馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やったださる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよな」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願いだと思います。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。ご協力に心より感謝いたします。

大会協賛

社会人馬術振興基金支援法人

レッキス工業株式会社

協賛

株式会社 日本馬事普及

乗馬サロン ピアッフエ

ユナイテッドフォトプレス

日本料理 吉

敬称略・順不同

日本中央競馬会 助成事業

祝 第51回 全日本実業団障害馬術大会

企業の皆様 会議用仕出し弁当の配達いたします。
日本橋で40年都心の企業様を中心に、
日本橋・大手町・丸の内・永田町エリアにお届けしております。

急な会議で、困ったときなど、前日までご予約承ります。
どのお値段(1000円～)でも4個からお届け可能です。

配達エリア: 中央区・千代田区・港区全域

お問い合わせ電話番号 03-3242-1010

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-2-2 日本料理 「吉」

幕の内弁当(1575円)
銀だら西京焼き・野菜の五目煮
ヒレカツ・カニクリームコロッケ
自家製玉子焼き・蒲鉾・昆布・しば漬け





UNITED PHOTO PRESS

本大会撮影中!!

~詳しくは打合せ会・現地配布のピンク色のチラシをご参照下さい~

インターネットにて
閲覧・購入ができます!

「ユナイテッドフォトプレス」で検索→ユナイテッドフォトプレスホームページ
www.united-photo-press.com/

「UPP ONLINE STORE」をクリック

<https://phst.jp/upp/>

携帯からもご購入出来ます→「UPP ONLINE STORE」で検索

www.united-photo-press.com

UNITED PHOTO PRESS



KENTUCKY®

Warm in Winter



BOSTON-JAPANウインター

価格: 29,400円 (税込)

カラー: ショコラブラウン、ダークグレー、ネイビー

サイズ: メンズ/42M~52

素材: ポリエステル49% ナイロン30% ポリウレタン21%

ウインター素材で裏面全体がソフトなフリース仕上げで一枚でも暖かく、寒い冬でも快適です。表面はサラッとしている素材です。



Starlight 125

価格: 29,400円 (税込)

カラー: ライトベージュ、ショコラブラウン、ダークグレー、ネイビー

サイズ: レディース/34~42L

フルシートは素材: ポリエステル49% ナイロン30% ポリウレタン21%

Daylight City

価格: 31,500円 (税込)



カラー: ネイビー、ライトブラウン、ダークグレー
サイズ: レディース/34~42L
素材: コットン65% ナイロン28% ポリウレタン7%

フルシートはシンセティックレザー。ストレッチ性の高いシンセティック素材なので身体の動きにフィットします。

Daylight-Denim City

価格: 31,500円 (税込)

カラー: ネイビー、グレー、ショコラブラウン

サイズ: レディース/34~42L

素材: コットン64% ナイロン29%

ポリウレタン7%



日本馬事普及は皆様のより良いライディングライフを応援いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.horsy.co.jp>

Email: sroom@horsy.co.jp

●価格・仕様等については、予告なく変更させて頂く場合もあります。

HORSY
INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社 日本馬事普及

We are all HORSY people

G.PASSIER & SOHN

KENTUCKY

CAS CO

K&S

W&A